



# 徳島県小学生と保護者向け 家庭教育セミナー

～子ども達の基礎学力と判断力を育てる～

参加費  
**無料**

聴講券が必要です

**一般参加可**

どなたでも参加できます

講演内容は小学校高学年対象です。

お子様も  
ご一緒に!!



講師  
**家庭教育プロデューサー  
酒井 勇介氏**

講師プロフィール  
(株式会社 エデュビーチ 代表取締役)

早稲田大学教育学部卒。1986年に学研に入社。乳幼児・児童教育の商品企画開発に携わる。現在は独立し、全国で家庭教育論などの講演会や研究会を1800回以上実施。著書に「1日15分! 賢い子に育てる家庭のルール」(学研ネクスト)など。現在フリーの家庭教育プロデューサー。

1部

10:30 徳島県教育委員会講演

「学校では何を学ぶのか、そして家庭での役割は」

徳島県教育委員会の先生が、学校の授業について分かりやすく説明します。

【講師】徳島県教育委員会 学校教育課 義務教育担当 統括指導主事 齋藤 大輔氏

2部

11:00 家庭教育プロデューサー 酒井勇介氏講演

「中学入学までに身につけたい学習習慣と学習意欲」

小学生のお子さまをお持ちのご家庭で実践できる、学習習慣と学習意欲継続のコツを楽しくお話しします。

【講師】家庭教育プロデューサー 酒井 勇介氏

**7/29** 土

**阿南会場**

阿南市情報文化センター  
(コスモホール)

定員  
300名  
先着順

**7/30** 日

**徳島会場**

新聞放送会館7階  
大会議室

定員  
300名  
先着順

各会場とも〈開場〉10:00 〈開演〉10:30 〈終演〉13:00(予定) ※各会場、定員になり次第締め切らせていただきます。

後援/徳島市教育委員会・阿南市教育委員会

参加お申し込み書 ※1枚の申し込み用紙で、1家族とさせていただきます。

ご希望会場(○で囲んでください)		阿南 ・ 徳島	
代表者名前	様	お電話番号	
ご住所	〒		
参加者名前	保護者 様	保護者 様	
	様(小学 年生)	様(小学 年生)	

お問い合わせ・お申し込み  
最寄りの徳島新聞販売店または、  
徳島新聞販売店協同組合まで  
**☎0120-46-1940**  
受付時間(平日9:30~17:30)

お申し込み方法

この用紙の左欄に必要事項(お名前・ご住所・お電話番号・参加児童の学年・ご希望の会場)をご記入の上、以下のいずれかの方法でお申し込みください。折り返し、先着順にて聴講券をお送りします。

●直接お申し込みの場合

徳島新聞社事業部 TEL.088-655-7331(平日9:30~17:30)またはお近くの徳島新聞販売店までご持参ください。もしくは、お電話いただければ、取りに伺います。

●メールの場合

メール本文に左記必要事項をご入力の上、徳島新聞社事業部まで sgaku1@topics.or.jp

●はがきの場合

左記申し込み書の必要事項をご記入の上、徳島新聞社事業部まで 〒770-8572 徳島新聞社事業部 「家庭教育セミナー」係

●FAXの場合

左記申し込み書の必要事項をご記入の上、このチラシを徳島新聞社事業部まで FAX:088-626-1885

※託児サービスは付帯しません。※小さいお子様の同伴可ですが、周りの方のご迷惑にならないようにご協力ください。※徳島会場以外には駐車場完備ですが、できるだけお乗り合わせの上、ご集合ください。徳島会場は近隣の有料駐車場にお停めになるか、公共交通機関などをご利用ください。※いただいた個人情報は今回のセミナーと今後の教育関連事業の案内みに使用します。

# 家庭で実践できる「なるほど!」がいっぱい。 ぜひ親子でお越しください!



昨年掲載された徳島新聞紙面



酒井さんの講演に関き入る保護者ら—板野町の県立総合教育センター—



学校での授業時間は全国統一なのに「学力」や「やる気」に差が出るのはなぜ?  
それは家庭での時間の使い方にヒントがあります。  
今年のセミナーでは「家庭学習のヒント」を、  
初めて「頑張る親子」に向けてお話しいたします。

これまでに徳島県教育委員会・徳島新聞社の合同主催で開かれた  
保護者向け家庭教育セミナーの聴講者の声です。

## 徳島会場 会場：あわぎんホール

▶勉強が楽しくできるヒントが盛りだくさんで、楽しみながら賢くなる  
ことが実感できた。

▶親としてまめな応援が必要で、すぐに結果を求めないこと  
が大切だと感じた。毎日の生活の中でできる働き掛けが  
たくさんあるのだと気づいた。

▶才能でなく努力を褒める。そして精神的にも強い子どもに、  
という言葉に勇気をいただいた。同居の義母は才能を褒めるので、  
そのことには感謝しつつ、母親である私は努力を褒め続けたいと思う。

▶子どものSOSに気づくこと、見守っていると伝えることで、  
子どもも安心して勉強できるのだと思った。仕事で  
あまり時間が取れないが、一緒に学び楽しんでいきたい。



## 阿南会場 会場：阿南市立情報文化センター(コスモホール)

▶生活習慣、学習習慣は親の努力でつくらなければいけないこと。  
分かっていてもなかなか…という私自身の甘えを見直す  
いい機会になった。

▶家庭での会話が大事ということが印象に残った。会話  
の中から自然にクイズを出したり、子どもたちの道徳心  
を育てたりできたらいいなと思った。

▶勉強しなさいは必要。ただし、その日の感情で言わない  
ことということに反省させられた。

◆新聞を通して子どもたちに伝えることができること、新聞  
から学ぶこともできることがよく理解できた。

◆自立した人間として、いろいろなことを自ら考え、判  
断し、表現できる子どもになることが大切だということが  
分かった。

